

■ぽぽら春日部にはこんな施設があります

会議や研修、イベント等に利用できる「会議室」

会議室は、市民活動に関する会議や研修、イベント等で利用することができます。

■会議室の概要（※要団体登録）

名称	定員	使用料(1時間)	備考
会議室1	50名	800円	一体使用可
会議室2	25名	400円	定員100名
会議室3	25名	400円	土足禁止
会議室4	12名	200円	一体使用可
会議室5	25名	400円	
会議室6	25名	400円	

■貸出備品（無料）

プロジェクター、マイク、アンプ、スクリーン、DVDデッキ等

お子さんと一緒に遊ぶことができる「キッズルーム」

キッズルームは、小さなお子さんが、お母さんやお父さんと一緒に遊べる部屋です。

- ・すべり台、ボールプール等の遊具や絵本
- ・おむつ交換台、授乳室（お手洗内）等

をご自由にお使いいただくことができます。ぜひご利用ください。※託児はございません。



楽しい絵本がいっぱい

ボールプールで遊んじゃおう

■市民活動Q & A 皆様からの市民活動に関するご質問をお待ちしております。（電話、FAX、Eメールで）

Q1 ぽぽら春日部で、インターネットを使うことはできますか？

情報スペースに設置しているパソコン（3台）や持ち込みのパソコン（無線LAN、内蔵バッテリーで使用）を使ってインターネットを利用することができます。市民活動情報の検索等にぜひご利用ください。（4階のみご利用可能）

なお、無線LANをご利用の際は、窓口でパスワードをお伝えしますので、お声がけください。



Q2 市民活動情報は、どうやって探せばよいですか？

「地域のために何か活動を始めたい」という皆さんに向けて、様々な市民活動情報を発信しています。

- ①ぽぽら春日部ホームページ
団体案内やイベント紹介、活動報告等
- ②掲示板（交流・ミーティングスペース）
市、社会福祉協議会等のボランティア募集情報
- ③情報ファイル（情報スペース）
約250団体分の団体案内や活動内容等
活動を始める第一歩として、ご利用ください！



発行 年4回（6月、9月、12月、3月）
春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」
春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4階
■TEL: 048-731-3550 FAX: 048-734-1605
■E-mail: katsudo@city.kasukabe.lg.jp
■HP: http://kasukabe.genki365.net/

●団体インタビュー（中面）

「点字を見たことありますか？どこかで見てますね！」——春日部点字サークル

「笑顔を作りつながり続ける」——スマイリングファクトリー

ぽぽら春日部を写真で紹介 交流・ミーティングスペース ※団体登録不要



予約なしで市民活動の打ち合わせができる、広くて開放的なスペースです
ぜひご利用ください

春日部市コミュニティ推進協議会主催事業

問合せ：事務局（ぽぽら春日部内：048-731-3550）

春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」

- 使用時間：午前9時～午後9時30分
- 休所日：毎週火曜日、年末年始（12/29～1/3）
※火曜日と休日が重なった場合は開所し、その日の直後の平日が休所となります。

- 東武スカイツリーライン・野田線「春日部駅」下車
「春日部駅」西口から徒歩5分
- ※駐車場（有料）は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

案内図



第33回春日部藤まつり

4月27日（日）10:30～16:00
（雨天時29日（祝）に延期）

春日部駅の西口、藤棚が約1.1kmにわたって続くふじ通りで、藤まつりが開催されます。幼稚園児の鼓笛隊や小中学校のブラスバンド等のパレード、コミュニティ団体による飲食物、日用雑貨等の販売、体験、ゲームコーナー等、華やかな演技と趣向を凝らした模擬店が皆さんをお待ちしています。

これからのイベント情報

市民活動のための広報講座（第2回） 知らなかったら 損をする！ 「フェイスブック、twitter でググッと広がる伝え方」

よく耳にする、フェイスブックやツイッター。インターネットのサービスを上手に使うって、皆さんの活動をもっと広げてみませんか？

日時：3月22日（土）13：30～16：00
（受付13：00～）

会場：ぽぽら春日部 会議室1・2

講師：i-casket代表
吉田 理子氏

定員：1団体3名（15団体まで）

対象：市民活動をしている方、始めたい方

参加費：無料

申込み：ぽぽら春日部まで

※タブレット端末当日

貸し出しあり（10台まで）



第6回春日部市市民活動フォーラム 「ぽぽら春日部で市民活動は 活性化したか」

2月8日（土）、雪の影響で延期になった市民活動フォーラムを下記日程で開催します。

さいたま市・川口市の様子を伺って、春日部市の市民活動を考えてみましょう！

日時：3月30日（日）13：30～16：30
（受付13：00～）

会場：ぽぽら春日部 会議室1・2

講師：東 一邦氏
前さいたま市市民活動サポートセンター長
鷲巣 敏行氏

かわぐち市民パートナーステーション参与
お二人推薦の市民活動団体による発表

対象：市民活動をしている方、始めたい方

定員：80名（要申込）

参加費：無料

申込み：ぽぽら春日部まで

イベントの報告

「ぽぽら春日部」オープン2周年記念イベント ぽぽらフェスティバル

～市民参加の実行委員会でイベントを企画運営～



ぽぽらカフェで楽しく交流

12月7日（土）、8日（日）に「ぽぽらフェスティバル」を開催し、延べ4,300人にご来場いただきました。

■実行委員会企画のイベント

2周年記念講演、市民活動交流会、クリスマスミニコンサート、イルミネーション、ぽぽらカフェ、ボランティア相談コーナー

■パネル展示・販売等（12団体参加）

ボランティア、子育て、観光、国際交流等、様々なテーマに沿った活動紹介や会員募集案内等

■活動体験・実演等（23団体参加）

子どもアート体験、科学遊び教室、生け花のアレンジメント、ぽぽら写生会、パソコン教室、円空仏、将棋、囲碁、ヨガ等

市民活動のための広報講座（第1回） 「少しの工夫でググッと伝わる キャッチコピーのつくり方」

2月16日（日）に「ぽぽら春日部」で、広報アドバイザーとして、NPOの広報活動に長年取り組んでいる中妻祐子氏、小守谷律子氏を講師に、キャッチコピーづくりの広報講座を開催し、41人にご参加いただきました。

前半は、キャッチコピーの役割、つくるまでの流れ、つくり方の基本を学び、参加者の皆さんが実際にキャッチコピーづくりに挑戦しました。

後半は、つくったものを見て、自分の気に入ったキャッチコピーに投票を行いました。

参加者からは、「つくり方のポイントがよくわかり、とても参考になりました」との感想をいただきました。

皆さん真剣な表情で投票していました



点字を見たことがありますか？どこかで見てますね！

— 指で触って心で読む —

■設立：1984年5月1日
■連絡先：猪股 電話：763-1995
■E-mail：kein_thankyou27@hotmail.co.jp

—春日部点字サークルについて教えてください。
視覚障がい者のための点訳を行っています。点訳依頼に依ったり、必要と思われる点訳書を作成する等、視覚障がい者の読書・情報環境を整えるための協力を行っています。

—どんな活動をしていますか？

毎週火曜日に市立中央図書館で定例会を行い、点訳の勉強会や広報点字版編集会議を行っています。この会議では、「広報かすかべ」の内容を分かりやすく、正確に伝えられるように心掛けています。

点訳に興味のある方、ぜひご連絡ください！

<定期的に（毎月）点訳している資料>

・市広報誌「広報かすかべ」2部
（市立中央図書館と市役所別館 1階市民生活相談課に配架。どなたでも閲覧できます）

・ゴミニケーションカレンダー・健康情報（市内視覚障がい者宅へ送付）
・カレンダー30部（同上）

・月刊誌を3誌

<その他の活動>

・春日部市社会福祉協議会からの依頼により、市内小中高校の福祉体験の一つとして点字指導を行っています。
・中途失明者のために、点字の触読指導を行っています。

「広報かすかべ」点字版の編集会議
分かりやすく、正確な情報を伝えられるよう、試行錯誤しながら、協力して作成しています



笑顔をつながい続ける

■設立：2009年8月
■連絡先：武藤 電話：048-812-4262
■E-mail：smilingfactory@yahoo.co.jp

—スマイリングファクトリーについて教えてください。

私たちは、高齢者や育児者、HSP*の方たちへ向けた閉じこもり予防を支援する市民活動団体です。

※HSP=Highly Sensitive Person 感受性が強く、敏感・繊細な人。それゆえ傷つきやすい人たち。

—どんな活動をしていますか？

これまで、介護施設でのライブやヨガ教室等を100公演以上行ってきました。また、一般向けのヨガ教室やセミナーも開催しています。

各分野のプロが本格的なメニューを作成し、下記サービスを提供しています。

※2014年4月より随時開催予定

・介護予防ヨガ(椅子に座ったままのヨガ)
・mama's reborn yoga
（ママのための産後身体調整ヨガ）

・プロ歌手・俳優による慰問ライブ
・HSP向けメンタルヘルス活動

「感受力」セミナー

提供者：ヨガインストラクター、歌手、看護師、介護福祉士、管理栄養士、表彰療法士、心理カウンセラー

—今後の目標は何ですか？

社会を人のつながりがある温かい地域社会に戻していくことです。そのためには、地域共同体感覚を育成していく必要があると感じています。私たちの活動が高齢者と若者を結びつける架け橋になれば幸いです。

さいたま市岩槻区地域包括センター「ふれあい教室」クリスマス会の様子

